

孫の行ってる高校が?! 驚いて参加

全体会で「高校統廃合反対」の運動交流に大きな拍手



10月24日、仰木の里東小学校で行われた滋賀県母親大会。1000人を超す参加者で盛大に催されました。

全体会の運動交流では、「ぜったいに地元の高校をなくさないで! 教育予算をけずるな」とカラフルに大書した横断幕を持って母連のみなさんの訴えがありました。会場からは大きな拍手がわき起こりました。

統廃合分科会：湖南農業のPTA三役がそろって参加

高教組が担当して開催した「高校が10校もなくなる?! 全県一学区・高校統廃合を考える」の分科会には、地域住民や高校や特別支援学校の教員、PTA関係者など17名が参加しました。特に、湖南農業からはPTAの三役が揃って参加。議会への働きかけや、他校のPTAとの連帯、さらには高校生への働きかけについて決意が語られました。

高校を良くして、地域も良くしていくのが本筋のはず

参加者からは、積極的な意見が相次ぎました。

正直、定員割れしてる高校は少くも統廃合されても仕方ないんじゃないかと思ったりしていた。今日来て話をきいて、地域にとって高校は大事なんだと改めて知った。それなら、県教委は高校をつぶすんじゃなくて、高校をもっと良くして、もっと地域も良くする方法を考えていくことが本筋なんじゃないかと思う。(高校生の母親)

日本はものづくりを大事にしなければ。農業・ガーデニング・工業などものづくりに関わる高校もいっぱい対象になっている。「三方良し」の人間をいっぱい排出している高校も。そんなところを無くしていくなんてとんでもない。近江鉄道沿線の高校がなくなったら、近江鉄道も止まってしまう。地域をどう考えてるの。(地域住民)

対象になっている高校の高校生も知らないかもしれないけれど、その地域の中学生やその親にとってはもっと重大な問題のはず。その人たちにも知らせていかなければ。(地域住民)

全県一学区で、「滑り止め」とかで私立を受ける子がすごく増えて、結局私学が儲かっている。私学は今、どんどん校舎をたてて、設備をよくしていつている。私学に肩入れして公立に行けなくするという意向が裏にあるんじゃないかと思ってしまう。(地域住民)



ある高校では、落ちこぼれて行き先のない子が集まってきて、3ヶ月くらいで沢山やめていくと聞いている。よくできる子の選択の自由ばかり言うが、そっちのほうはどうなるの? 勉強のできる子以外はどんどん疎外される。無縁社会になっていく。学校の先生も、PTAとも、子どもたちとも手を取って頑張ってください。私たちも応援します。(地域住民)

分科会の最後に「申し合わせ事項」として次の4点を確認しました。

- ・それぞれの立場で周りに知らせていく
- ・11.3県民のつどいに参加する
- ・計画案が出る事態になれば地域の運動を応援していく
- ・反対署名を集める

高校統廃合はストップせよ
速報 第29号 2010/10/26 発行：滋賀高教組

(増し刷りして全教職員に配布し、また掲示板上に貼るなどして下さい)